

第 3 回懇談会「ご意見シート」について

1 情報発信拠点としての新たな事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	
1	区民が必要とするとき、速やかに情報が手にはいるシステムの構築	
	図書館らしい総合的な情報であること。	
	新たな事業展開として、アドバイザー、プラス インフォメーションの機能を持つカウンターを設ける。	
2	図書館は地域情報受発信、資料保存、情報リテラシーに特化した施設であるので、その特色を活かした事業展開を図る。	
3	公的な情報を音声などで提供しようとするのはいいが、あまりに時差が生じてしまっている。情報提供のタイムリィさと朗読ボランティアの養成との優先順位を考えてほしい。情報障害者としての位置づけを考えていると思えない。古くなった情報は必要ない。	
4	情報発信拠点として、まずは、今まで以上に来館して下さる人を増やしていく必要があると思います。図書館の魅力アピールと口コミをしていくことが大事だと思います。	
5	前回の懇談会では「図書館の役割を広げ区民事務所や出張所と連携する」、「レファレンスや検索サービスなど従来の役割を充実させていく」という2本の柱が話し合われましたが、このふたつは時間を分けて別々に話した方がよいと思います。	
	それぞれどんな事が出来るかを具体的に話し合い、なるべく否定的な意見は出さず、アイデアをどんどん考えていければと思います。	
6	まずは、区民の方へのお知らせ、広報だと思います。	

2 区民や地域との協働・協力に向けた事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	
1	意見シートに書かれた提案は、友の会的組織によって、ほぼカバーされる。この場合、事務局を図書館内におくこと。区民、利用者が持っている能力を友の会が引き出すことが可能。図書館の敷居を低くすることが出来る。	
2	懇談会の継続を。 この懇談会は開催数が少なく、提案された事業を実施するためのノウハウや、詳細を論議する時間がない。懇談会を継続していくという選択肢を検討したい。	
	友の会を。 友の会ならテーマ別の図書展示をする際、併せて映画会、講演会などを企画し易く、相乗効果で、区民の図書の利用も増え、新たな利用者層を開拓できるのではないかと。多様な経験をもつ区民が運営に参画すれば、名実ともに地域の図書館になり、企画も豊かになるだろう。	
3	事業展開としては、講演会等を企画するのもいいと思う。でも、場所貸しだけなら他にまかせればいいと思う。	
4	他の図書館のイベントでぬいぐるみを預かる企画がありました。小さな子ども達の友だちでもあるぬいぐるみを夕方預かり布団に寝かせ、夜は図書館で遊んでいる姿を写真に撮って、次の日、ぬいぐるみを返し、写真を後日見に来てもらうといった内容でした。地域の人が図書館に来てワクワク体験してもらうような企画も良いかなと思いました。	
5	ザグレブ市図書館のホームレス社会復帰支援（クロアチア） <a href="http://current.ndl.go.jp/e1322">http://current.ndl.go.jp/e1322</a>	
	地域の課題解決のため図書館と自治体が協力するには（米国） <a href="http://current.ndl.go.jp/e1158">http://current.ndl.go.jp/e1158</a>	
6	子ども議会議員のアンケートの項目にある「区立図書館でのボランティア活動」は、区民が地域の図書館運営に参加しているという意識付けにもなるので、一般区民の参加もよいのではないかと。 ただ、図書館の案内など、コミュニケーションが必要な活動には、研修をした上で、適任者を充当する必要があると思う。	
7	前懇談会にてお話が出ましたが、図書館という場所を、区民の方が集える場所、または、お互いの情報交換を出来る場所として利用できるようにするのも良いことだと思います。	

### 3 学校および子育て家庭への支援に向けた事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	
1	<p>学校支援</p> <p>現在、学校支援の「人」の配置は、教育指導課による学校図書館職員と、区立図書館（指定管理館）による学校図書館支援員の二本建てである。</p> <p>一方、学校図書館法を改正して「学校司書」を置く法改正の動きがあり、来年にも国会上程の状況である。</p> <p>将来を見通した方向としては、文科省としても、専門、専任、正規の学校司書の配置であろう。</p>	
	<p>子育て支援</p> <p>ブックスタート事業の拡充として絵本配布率100%をめざす。</p> <p>また、乳幼児むけのおはなし会の充実をはかる。働く親たちのために、土、日曜日の実施が必要。</p> <p>民生・児童委員と連携し、きめこまかな支援の方法をつくるプロジェクトチームを立ちあげる。</p> <p>「子どもと本のひろば」（南大泉図書館分室）が25年開館になるが、図書館の空白地域に同様の施設を建設する。</p>	
	<p>学校図書館職員、学校図書館支援員、それぞれの働きがわかる資料を第3回懇談会に出してください。</p> <p>「平成24年度学校支援事業 比較表」参照</p>	
2	学校からの支援の要請をうけて資料をサポートする。	
3	<p>今子育て中の親世代がすでに活字離れと言われている中で、絵本の大切さを伝えるブックスタート事業は今後も是非続けていただきたいと思います。そして今より少しでも配布率が上がるよう努力することも課題です。例えば、忙しくて取りに来られない方や、図書館が近くにない方には届ける方策も検討してみたいかがでしょう。</p>	
	<p>学校においても、図書館から職員が出向いて本の探検ラリーなど協力されている姿を見受けますが、子どもたちにとって本に興味を持つきっかけになり楽しい時間です。図書館司書が配置されていない学校が多い中できる限り、学校図書館の利用の仕方や活用の支援をしていただきたいと思います。調べ学習に利用するだけでなく図書館で本を読みたいと思えるような館内整備も出来ると思います。忙しい学校の先生に代わって応援できる人材の育成なども考えられます。</p>	
4	学校の課題図書などを提供するのよすが、本来の図書館業務をした上で余力があればいいが、今はできてないように感じている。本来の業務としては、人間の学習権の尊重にあると考えている。	
5	<p>学校図書館にある蔵書では現段階では不十分です。</p> <p>必要な資料や情報は、その年、その時で変化していくので、常に新しい情報がすぐに得られるためにも学校と公立図書館とのリンクの充実さを求めたいです。</p>	

「ご意見シート」の意見		
6	九州大学が開始した学生による本の紹介リレー “ BookLink ” <a href="http://current.ndl.go.jp/e1224">http://current.ndl.go.jp/e1224</a>	
	「ぬいぐるみの図書館おとまり会」現場の様子と舞台裏（日本） <a href="http://current.ndl.go.jp/e1127">http://current.ndl.go.jp/e1127</a>	
7	中高生による中高生向け「おすすめ本リスト」「図書館情報誌」「HP」などの作成、図書館での中高生向け図書の展示など。 （実施している自治体があり、好評とのこと）	
	学校教育現場での図書館利用教育	
8	子供は、必ず大人になります。そういう意味でも幼い頃から図書館に親しみ、また、練馬区立の小中学校でも子供たちに、図書館の活用方法を早くから教えていただくと大人になった時に、より良い活用ができるのではないかと思いました。	

4 図書館の資料や人材などを活用した事業展開

[ご意見シート]

	「ご意見シート」の意見	
1	2と同じで図書館の敷居を低くする活動をする事。	
	『ねりままつりや照姫まつりなど、区内の催しに出店し図書館のアピール活動。利用者の増加を目指す。(第2回懇談会「ご意見シート」項目4の6)』のような図書館のアピールを行うこと。	
	区内の人材を活用した各種講座(友の会企画も)の実施	
2	図書館は資料の収集、保存、活用という従来の役割に加え、区民に居場所としての空間を提供することも求められている。PCが使える個人オフィス、勉強室などを提供するには中央図書館が必要。	
	一般書資料数/人は23区中21位、蔵書数/人は22位である。次期中長期計画ではこれらの数値を引き上げるよう、目標とする数値を設定する。	
	除籍本の再利用を考えたい。(友の会の事業向き)	
	武蔵野市の定点観測の映像ファイルも事業として面白い。練馬バージョンを作るか。	
	武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベースを図書館で作成している。練馬も。	
3	学校支援はこれからもぜひ続けていただきたいと思います。また、子供向けの新刊図書の紹介やお薦め本の紹介など読んでみたいと思えるような内容の情報を提供していただければと思います。	
	図書館が区民にとってのたしきやすい場所となるよう、図書館の一角に談話室やラウンジ、学習室などもあればと思います。利用者のニーズに合わせた工夫もこれからの図書館には必要です。	
4	レファレンス業務を考えれば専門性を優先すべきで民間委託の方が適している。区職員の配置は管理業務に限定すべきだと思う。レファレンス業務の人材としては個人的には、区職員の方を想定してはいない。	
5	図書館司書が選んだ「本の福袋」の貸出 <a href="http://current.ndl.go.jp/e1007">http://current.ndl.go.jp/e1007</a>	
	図書館を使った調べる学習コンクール <a href="http://www.toshokan.or.jp/contest/index.php">http://www.toshokan.or.jp/contest/index.php</a> 23区内で地域コンクールを行っているのは文京区、杉並区、豊島区、新宿区、墨田区、荒川区、板橋区、江戸川区、大田区です。	
6	資料、また、人材を活用していただき多くの人の学びの場を作っていただきたいと思いました。	

5 その他

[ご意見シート]

「ご意見シート」の意見	
1	<p>いずれにしても事業展開については、中央図書館を必要とする。</p> <hr/> <p>過去に於いて、平成三年、光が丘図書館建設懇談会が要望書を区長に提出している。</p> <p style="text-align: right;">資料参照</p>
2	<p>練馬区では図書館の統計などをまとめた資料を作成しているが、公開していない。貸出の資料に加えてほしい。ちなみに組織、運営、資料収集基準、除籍基準、適用法など図書館の全容が網羅された「武蔵野市の図書館」は光が丘図書館で借りられる。</p>
3	<p>予算の許す範囲で建物の補強とか建て替えも災害時を想定して早急にやってほしい。資料の保護も優先して考えてほしい。</p> <hr/> <p>民間委託した所では、開館時間の延長、閉館日をへらすことを提案してほしい。</p> <hr/> <p>図書館内に飲み物の自販機を置いてほしい。できますか。</p>
4	<p>図書館相互のネットワークもできており、オンライン・サービスも整備されているが、そのサービスの存在や有用性を知り、十分に活用できている人と、そのサービスについて全く知らない人たちとの情報格差があるように思う。          情報提供機能があることを何らかの形で、PRできれば、利用につながるのではないかと。          (区報や図書館便り、HPIは、興味がある人は見るが、限られているので、多数にアピールするためには、学校や地域の図書館の地道な働きかけが必要ではないかと)</p> <hr/> <p>図書館利用者の情報ニーズは個々ばらばらであり、図書館が提供するサービスをうまく使いこなせない、図書館で事が足りない、といった要求を埋めるためにも、専門の知識を持ち、個別に対応できる人の配置が必要であると思う。</p>
5	<p>この懇談会に参加させていただいたおかげで「図書館とはどういう場所か？」と考えるようになりました。そして、また、図書館へ行き『図書館はコミュニティ創出の「場」(小林麻美著)』を見つけて読んでみました。六本木ヒルズの中にある会員制ライブラリーのことが書いてあり、とても新しい発想であり、挑戦であり、また、面白いなと思いました。例えば、返却できない本はそのまま買い取り、自律した人々のつながりの場ということで、メンバーコミュニティサークルがあったりとか、次回までにお話をまとめてきたいと思います。</p>